2013.1.1 朝日新聞

夢への新たな一歩踏み出す年に

2012ミス日本ミス着物を務めた水戸市の海老澤佳奈さん主演の映画「波山をたどる旅」完成記念試写会上映

12年度のミス日本ミス着物に選ばれた水戸市出身の海老澤佳奈さん(20)が主役を務めた映画「波山をたどる旅」が完成し、18日から水戸、笠間、筑西市で完成試写会が開かれる。現在、神戸女子短期大学に通う海老澤さんは、演技の経験はなかったが、書道9段の集中力と高校時代の野球部マネジャーで培った精神力で本県出身の陶芸家・板谷波山の真の姿を追う女性・カナ役を見事に演じた。今年は関西でテレビのリポーターとして活躍することも決まり、幼い頃からの夢だった女優への道を目指して新たな一歩を踏み出す。

海老澤さんが女優を目指すきっかけとなったのは、小学1年の時にJRの観光キャンペーンポスターのモデルとなったことからだという。父親に集中力を養うためにと勧められて書道教室に通っていた小学生にとって、メイクをしてもらい、まばゆい照明を浴びての撮影、刷り上がったポスターは、「またやってみたい」と憧れを募らせるのに十分な経験だった。

水戸短大付属高校(現・啓明)に進むと、野球部のマネジャーとして球児たちを支え、共に甲子園出場を目指した。「当時の監督(須田武志さん)から、『感謝を忘れるな』って。厳しかったけれど、礼節もみんな監督に教わりました」。この経験が、今の自分を支えてくれていると話す。

大学に入学した海老澤さんは、兵庫県の観光PR役・ミス神戸に応募し、フラワープリンセス神戸に選ばれると、12年にはミス日本コンテストにエントリー、ミス日本ミス着物に輝いた。「光栄でした。映画のお話をいただけたのも、ミス着物のお陰です」と感謝する。

「波山をたどる旅」には、04年に公開された映画「HAZAN」で波山を演じた俳優・榎木孝明さんも大学教授役で出演。演技未経験だった海老澤さんは、榎木さんのアドバイスで演技することが楽しいと感じられるようになったという。撮影も水戸や笠間、筑西市で行われたこともあり、初主演にもかかわらず、とても安心出来たと話す。

女優という夢に向かって一つずつ階段を上っている海老澤さんは「親近感の湧く女優になりたい。今年は、そのための新たな一歩を踏み出す年にしたいです」と抱負を語る。

「波山をたどる旅」完成記念試写会(無料、海老澤さんの舞台挨拶あり)

▽18日午後3時、7時30分　水戸市・県近代美術館▽19日午後3時　筑西市・下館スピカ6階コミュニティプラザ▽20日午前10時30分、午後1時30分　笠間市・県陶芸美術館。問い合わせは☎090・7718・4259　担当・金澤さんへ。